

## 令和6年度 事業報告書

### 1 第19回大分県障がい者スポーツ大会開催事業(県委託事業)[別冊 P1]

- ・ 当協会が主催する個人競技7競技に延べ997名(実人員703名)が参加  
※第18回(前回):延べ914名(実人員:573名)

#### (1) 県障がい者スポーツ協会主催競技(7競技)

競 技	期 日	場 所
アーチェリー	4/7(日)	別府市営実相寺アーチェリー場
卓球、STT(身・知・精)	5/11(土)	県身体障害者福祉センター 体育室
ボッチャ(身)	5/12(日)	県身体障害者福祉センター 体育室
陸上(身・知・精)	5/18(土)	レゾナックドーム大分
フライングディスク(身・知・精)	5/18(土)	レゾナックドーム大分
水泳(身・知・精)	5/19(日)	大分市営温水プール
ボウリング(身・知・精)	5/25(土)	タワーボール植田店

### 2 第23回全国障害者スポーツ大会派遣事業(県委託事業)[別冊 P3]

- ・ 「SAGA2024 全障スポ」(10月26日(土)～28日(月))  
会場:SAGA(佐賀市)スタジアムほか佐賀県内各地  
大分県選手団65名(選手36名、役員29名)が参加し金メダル15個、銀メダル13個、銅メダル8個、計36個のメダル獲得  
※前回大会(鹿児島大会):金メダル13個、銀メダル9個、銅メダル15個、計37個

### 3 第43回大分国際車いすマラソン開催事業(県委託事業及び自主事業)[別冊 P5]

#### (1) 事業概要

- ・ 令和6年11月17日(日)午前10時、大分県庁前をスタート、ジェイリーススタジアムをフィニッシュとする国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コースで実施

#### (2) レース概況

- ・ 海外12カ国から41名、国内30都道府県から149名、計190名が出走。うち、マラソン61名、ハーフマラソン118名、計179名が完走した。
- ・ マラソン男子では、最速クラスの T34/53/54 で、金華選手がレース終盤までもつれた鈴木朋樹選手とのデットヒートを制し、アジア新記録で大会初優勝を飾りました。また、T33/52クラスでは、伊藤竜也選手がフルマラソン初優勝、最も障がいの重い T51 クラスでは、ピーター・ドウ・プリア選手が、危なげない走りで、8連覇を達成。
- ・ マラソン女子では、T34/53/54 クラスで、カテリーヌ・デブルナー選手が序盤から圧倒的なスピードで独走し、2連覇を達成。

### 4 東パラレガシー障がい者スポーツ推進事業(県委託事業)[別冊 P8]

東京2020パラリンピック競技大会等で盛り上がった障がい者スポーツの機運と関心を踏まえ、本県における障がい者スポーツ活動をさらに推進するため、身近な地域でスポーツを始められる環境づくりに向け、以下の取組を実施する。

#### (1) 特別支援学校や社会福祉法人等と連携する身近なスポーツ環境づくりモデル事業

- ・ 特別支援学校における部活動をベースとし、当該校生徒のみならず近隣校の障がい児やOB等も活動できる身近なスポーツ活動の場づくりを推進した。

(令和6年度実績:さくらの杜高等支援学校、大分支援学校、南石垣支援学校、南石垣支援学校、日出支援学校、宇佐支援学校、中津支援学校、佐伯支援学校、日田支援学校、竹田支援学校)

(2) 総合型地域スポーツクラブにおける障がい者の受入れ拡大支援

- ・ 県内45か所の総合型地域スポーツクラブにおいて、障がいのある方々がスポーツに親しめる環境整備に向け、恒常的なプログラムの開催の支援を行った。

**新** 5 世界に羽ばたくアスリートの強化事業(県補助事業)[別冊 P12]

世界で活躍している選手及び今後世界で活躍が期待される選手の経済的負担を軽減し、国際大会の出場機会を増やすことを目的に、国際大会遠征費の補助を行った。

(補助対象経費:遠征費自己負担額の3/4、限度額:500千円)

※令和6年度実績:1人(宿野部選手(卓球)フランスオープン407千円)

6 障がい者スポーツサポーター養成・活用事業(福祉医療機構助成)[別冊 P13]

- ・ 車いすマラソンや県障がい者スポーツ大会等障がい者スポーツに関するボランティア活動を行いたい県民を対象に「障がい者スポーツサポーター」養成講習会を開催。
- ・ 受講者は、第43回大分国際車いすマラソン他各行事において活動した。  
(令和6年度登録者数実績:79名(令和5年度46名))

**新** 7 障害者スポーツ実施環境の構築支援事業(JPSA委託事業)[別冊 P17]

- ・ 身近な場所で気軽に運動・スポーツを実施することができる環境を整備するため、当協会のみならず、特別支援学校や各競技団体等に用具等の整備を行った。

8 チーム大分未来のスター発掘プロジェクト(JPSA委託事業)[別冊 P18]

- ・ スポーツに取り組みたい障がいのある方々を対象に、複数の競技体験ができるイベントを行い自分にあった競技を見つけられる「チーム大分・未来のスター発掘プロジェクト」の開催

実施日・参加者数	会場・実施競技
令和6年7月14日(日) 【参加者数】17名	レゾナックグラウンド 陸上競技(競走、投てき、跳躍)
令和7年1月12日(日) 【参加者数】23名	大分県立舞鶴高等学校 他 陸上競技、ボウリング、シッティングバレー フライングディスク、卓球バレー、フットサル

9 公認初級パラスポーツ指導員養成事業(JPSA委託事業)※事業申請中[別冊 P22]

- ・ 公益財団法人日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員(初級)の養成講習会を開催(22名受講)

日時:令和6年7月28日(日)、8月25日(日)、9月29日(日)、10月20日(日)

場所:太陽の家コミュニティセンター 等

10 障がい者スポーツ団体活動支援事業(県補助事業及び自主事業)[別冊 P25]

- ・ 障がい者スポーツ団体の実施する活動に対し、以下のとおり助成を実施  
令和6年度助成実績：
  - ・ 県大会経費 17団体
  - ・ 九州大会等参加経費 18団体
  - ・ 地域活動支援(練習会等) 22団体

11 サントリーチャレンジド・スポーツ アスリート奨励金事業(サントリー助成金)[別冊 P27]

- ・ 地域におけるチャレンジド・スポーツ(パラスポーツ)の普及拡大・環境整備を目的として、チャレンジド・スポーツの未来を担う若手アスリートと各協会・競技団体等に対して奨励金を給付するものについて、以下の2選手について手続きを実施  
第3期(令和7年1月～12月)
  - ・ 久多良木 隆幸選手(陸上競技)
  - ・ 伊藤 大貴選手(ブラインドサッカー)

12 表彰事業(自主事業)[別冊 P28]

- ・ 障がい者スポーツの振興を図るため、障がい者スポーツの功労者及び前年度に活躍した団体及び選手を表彰  
令和6年8月5日(月)表彰式(大分県総合社会福祉会館大ホール)
  - 功労賞:3名
  - 特別優秀選手賞:2名
  - 優秀選手賞:23名

13 広報事業(自主事業)

- ・ 協会ホームページを開設し、障がい者スポーツ情報を広く発信
- ・ 広報誌「障スポにゆ～す」を年3回発行(賛助会員募集含む)
  - 令和6年7月 :Vol.51 1,000 部発行
  - 令和6年10月:Vol.52 1,000 部発行
  - 令和7年2月 :Vol.53 1,200 部発行

14 障がい者スポーツ体験会・講演会実施事業(福祉医療機構助成、自主事業)

- ・ 障がい当事者を対象とする体験会やアスリート講演会を開催し、障がい者スポーツの普及推進に努めた。(開催実績:19回、延べ参加者数 1,349名)

15 理事会・専門委員会の開催

(1)理事会

- ・ 第1回 令和6年5月8日(水)
- ・ 第2回 令和7年3月17日(月)

(2)専門委員会

- ・ 第1回スポーツ大会委員会 令和6年6月5日(水)
- ・ 表彰委員会 令和6年6月27日(木)
- ・ 第2回スポーツ大会委員会 令和7年2月4日(火)